人類に奉仕するロータリー
RI会長　会長ジョン・ジャーム

Rotary District 2640 Japan
海南東ロータリークラブ
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST
2016-2017年
会長　上野山 雅也　　幹事　山畑 弥生　　ＳＡＡ：大江 久夫

第 1916 回例会

平成 29 年 5 月 15 日（月）

12:30～ 海南商工会議所 4F

１．開会点鐘

２．ロータリーソング　「我等の生業」

３．ビジター紹介　ガバナーエレクト　岡本 浩 様（和歌山城南ＲＣ）

４．出席報告

会員総数 44 名　　出席者数 24 名

出席率 54.55%　　前回修正出席率 68.18%

５．会長スピーチ　会長　上野山 雅也 君

皆様、こんにちは。本日は、2640 地区ガバナーエレクトの岡本浩様においで頂いております。本日は、ご苦労様です。岡本エレクトは、海南市出身で、海南高校、京都大学法学部から弁護士になられ現在、和歌山市内にて岡本法律事務所を経営され活躍されているとお聞きしております。

後程、田岡青少年委員長の委員長会議の報告のあと短時間で恐縮ですがスピーチよろしくお願いいたしたいと思います。

さて、先週、実質的に私年度の最後となる定例理事会を開催いたしました。本日は、その報告をいたしたいと思います。例によりまして、会長挨拶から始まり報告事項では、4 月 9 日に 2016-2017 年度地区協議会（地区立法案検討会）が開催され私と山畑幹事が出席してまいりました。内容については、以前お話したように、議案はすべて承認されました。4 月 16 日には中西エレクトの第 2 回目のＰＥＴＳが実施され中西エレクトご苦労様でした。4 月 23 日には恒例の「家族会」で琵琶湖方面にまいりましてミシガンでの昼食をメインに楽しいひと時を過ごして頂いたのではないかと思っております。中村親睦委員長ならびに親睦委員の皆様お世話有難うございました。

協議事項については、6 月のプログラムとして 5 日は恒例の夜間例会、12 日は、ゲスト卓話とし衆議院議員の石田真敏氏をお招きすることになっております。19 日には、次年度の委員会別活動計画会議を実施する予定です。26 日には、今期の最終例会となっておりまして、いよいよ私の最後の例会になります。それから、海南たんぽぽの会との交流の件、台湾彰化東南ロータリークラブ周年記念訪問の件、「2020 年日本ロータリー100 周年に関するアンケート」等を討議いたしました。

最後に残念な報告と嬉しい報告をいたします。まず、中尾享平さんが、今期をもって退会されるという事です。もちろん何回も慰留したのですがご本人の意思が固くやむなく承認いたしました。それと先日も、ご本人より発表があったとおり会社の都合で山田裕之さんが清水敏光さんと交代されます。山田さんについては、当クラブ一番の若手でありましていろいろ活躍して頂きました。この度は、会社の都合という事で残念ながらしばらく交代ということです。しかしながら 2 年間くらいで戻って頂ける予定でして、しばしの別れとなる事として認識しております。それから、うれしいことに新入会員が入会して頂けることになりました。それも女性会員でして、妙齢のお方であります。もうすぐ皆様に文書で詳しい事が届くかと思いますので、ご承認をお願いいたします。

６．幹事報告　幹事　山畑 弥生 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山東南ＲＣ　6 月 28 日（水）→6 月 30 日（金）
18：30～　ダイワロイネットホテル４Ｆ
最終親睦夜間例会

７．会員卓話　青少年奉仕委員長　田岡 郁敏 君

私は今回を含めて青少年奉仕委員を２回させていただいています。ただ、現在、当クラブではローターアクト・インターアクトを含め活動のない状態が続いており、私自身はたして青少年委員はどんなことをするのか詳しく知らない状態です。

5月は青少年奉仕月間です

事務所　〒642-0002
海南市日方 1294（海南商工会議所 4F）
TEL:073-483-0801　FAX:073-483-2266
http://www.kainaneast-rc.jp　E-mail：info@kainaneast-rc.jp

今回、桑添さんから青少年月間なので卓話をしてください。とのご拝命を受け改めて知る機会にしようと調べてみました。先輩の皆さんには当たり前のことばかりだと思いますが、私を含めここ数年で入会された人間には知らないことも多く確認の意味で聞いてください。

手続要覧には青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。若い人々の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすために彼らの生活力を高めることによって、若い人々に将来への準備をさせることは、各ロータリアンの責務である。すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズ（健康、人間の価値、教育、自己開発）を支援するプロジェクトを立ち上げるよう推奨されている。と書かれています。

また、青少年と接する際の行動規範に関する声明としてロータリーの活動に参加する全ての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童及び青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。とも書いています。つまり性的虐待、あるいはハラスメントなどからの青少年の保護をおこない、しっかり対処することを求めています。また青少年の国外旅行と題してロータリークラブを地区は、青少年を育成する活動の実施が奨励されていることを踏まえた上で、未成年者により地元地域以外への旅行を含むクラブと地区のプログラムや活動においては、青少年保護方針と書面による手続きを作成、維持しこれを順守しなければならないと書いています。このような方針に基づき行われているロータリーのプログラムと活動をお話ししていきます。

まず、インターアクトクラブについてお話しいたします。インターアクトは学校や地域社会の課題に取り組むために結束する 12～18 歳の青少年のためのクラブです。中学生、高校生が主体です。インターアクターは、インターアクトクラブで奉仕活動を行いリーダーシップのスキルを身に着け新しい友人を作ることを目的に少なくとも月二回のミーティングを開き年に 2 回奉仕活動を実施します。インターアクトクラブは自助自立して運営されますがロータリークラブの支援と指導また顧問の先生方の協力によりボランティア活動、海外研修等を行います。ロータリークラブでは以下の方法でインターアクトクラブを支援できます。①クラブ例会に地元のインターアクターや地区インターアクト委員長を招き、卓話してもらう②地域での奉仕活動にインターアクターにも参加してもらう。③インターアクトクラブを創設する（創設の際には学校の管理運営者と会合する）④インターアクターのためのキャリアデーを開催するインターアクトクラブの例会に出席するか、反対にロータリークラブの例会にインターアクターに出席してもらう⑤インターアクターの個人指導を行うロータリークラブ会員を指名する。などです。インターアクトクラブは学校の協力が不可欠なので先生の移動が多い公立ではやや不利と考えられ、実際私立高校でのクラブが多いそうです。

現在当地区では清風南海中学高校、精教学園高校、初芝富田林高校、高野山高校、羽衣学園高校、松原高校、精華高校、初芝立命館中学高校、初芝橋本高校、賢明学園中学高校、帝塚山学院泉ヶ丘中学高校の 12 クラブスポンサークラブ 10 クラブで活動しているそうです。

次にローターアクトクラブです。ローターアクトクラブは18歳～30歳までの青年による奉仕クラブです。ロータリーとアクションからローターアクトという名称はできています。大学を基盤としたクラブは、学部生と大学院生からなりキャンパス内で例会を開きます。地域社会を基盤としたクラブは社会人や学生など、さまざまな職業の青年によって構成されます。ローターアクトクラブはすべて、地元ロータリークラブの支援のもとで設立され、社会奉仕や国際奉仕の活動を実施します。ローターアクトクラブはまた指導力要請や職業開発の活動にも焦点を当てています。当クラブでも私が入会させていただいた 6 年前には活動があったと記憶しております。当時のローターアクトの活動は海南ロータリークラブ海南東ロータリークラブの支援のもと貴志川の清掃活動や障害者支援施設への訪問など奉仕活動をしていたようです。

ロータリークラブは以下の方法でローターアクトを支援できます。①地元の大学やコミュニティーセンターにローターアクト関連の情報を掲示する②クラブにローターアクト委員会を設立する③ローターアクトクラブの設立を支援し、後援する④クラブ例会にローターアクターを招いたり奉仕プロジェクトやクラブ活動で協力し合うなど、互いの関係を深める努力をする⑤ローターアクターの職業人またはリーダーとしての力を育てるため、個人指導を行ったりローターアクトクラブ役員の為の研修を実施する⑥元ローターアクターをロータリークラブの会員として迎える。などです。

現在当地区では御坊、河内長野、松原、高石、泉大津、岸和田、堺、の 7 クラブ会員数 56 名でスポンサークラブ 7 クラブです。

次に青少年交換プログラムです。ロータリー青少年交換は、青少年・青年のための交換プログラムです。参加する学生は、最高 1 年間、海外へ留学して新しい文化を学びます。15 歳～19 歳の学生は最高 1 年間の長期交換もしくは数週間から数か月間の短期交換に参加できます。一方 18 歳～25 歳の青年を対象とした新世代交換は数週間から最高 3 か月までと

されています。交換の参加者はロータリークラブまたは地区によって推薦派遣され母国の親善大使としての役割を果たします。青少年交換要覧にはまた、参加者の募集には高校が非常に適した場所です。青少年交換ポスターを貼ることを学校当局から事前に承認してもらい、関心のある学生にロータリアンが話をする許可を求めます。地域社会では青少年グループ、スポーツクラブ文化的な団体にたいしてプログラムを推進する。とあります。当クラブでも過去、地元の高校などに働き掛けをしておりますが、なかなか交換学生がいない状況がつづいています。

ロータリークラブは以下の方法でロータリー青少年交換を支援することができます。
①交換学生をクラブの例会に招き卓話をしてもらう②海外のクラブと連携して学生の受け入れや派遣を行う③参加学生やホストファミリーとなる可能性のある人々に青少年交換の文化的・教育的価値を伝える④地元の PTA または学校の委員会で、現在の留学生や元留学生によるスピーチを企画し、青少年交換のすばらしさについて話してもらう⑤地区青少年交換委員長または地区ガバナーに連絡し参加方法を尋ねる。

ホストファミリーについて、長期交換学生は交換中に 2 つ以上の家庭でホームステイをすることを義務づけられており、できれば 3 つの家庭でホームステイすることが望ましいとされています。当クラブで受け入れる場合でも 3 名以上ホストファミリーが必要なわけです。責任感が強く、海外の若者を自らの家で受け入れることに関心と意欲のある家庭が最も適したホストファミリーです。ホストファミリーはロータリアンの家庭である必要はありません。募集することもできます。たとえば、青少年交換学友の家族にホストファミリーになってもらうこともできます。

最後にロータリー青少年指導者養成プログラムの RYLA について話します。RYLA とはロータリー・ユース・リーダーシップ・アワーズの略であります。RYLA は青少年や若者のための研修プログラムです。対象年齢層は14歳～30歳と広いためほとんどのクラブや地区では特定の年齢層に対象を絞って実施しています。RYLA はリーダーおよび良き市民としての資質を伸ばし人間としての成長を促すことを主眼としています。このプログラムはリーダーとして嘱望される若者に効果的な研修を提供し青少年による青少年への指導を奨励し地域社会に尽くしている若者を公に表彰することにより、若者に対するロータリーの尊重を示すものです。

クラブでは地元の若者を地区の RYLA 行事に派遣するための予算を計上したり、リーダーとなる資質を備えた地域の若者を地区 RYLA 行事の参加者として募集する。など活動できます。地区 RYLA 委員長にクラブが参加する方法を尋ねることもできます。

以上ですがいずれにしても青少年や若者にロータリーを紹介し、さまざまなロータリーのプログラムの中で未来のロータリアンを育てることが新世代奉仕の目的ではないかと思います。

８．ガバナーエレクト スピーチ　　岡本 浩 様

本日、貴クラブを訪問したのは、私のガバナー年度が始まる前に出来るだけ多くのクラブを訪問して、各クラブがどのような例会をしているのかを知り、ガバナーとしての活動において、参考にしておきたいと考えたからです。これまで、35 クラブの訪問をいたしました。地区の半分以上のクラブを訪問いたしたことになります。

昨日、地区研修協議会を開催いたしました。多数のご参加を頂き、感謝しております。約 700 名の参加があり、問題もなく盛会裏に終了いたしました。地区が再生していることを実感することができました。

私は海南市の出身です。北野上中学を卒業し、昭和 40 年に海南高校を卒業しました。現在も実家に親があり、訪れています。想い出もいっぱいあり、甲子園出場の応援で生徒会長として、校旗を持ちました。

最後に私のガバナー年度で変えたいことは、ガバナー月信を会員全員に配布することです。ガバナー月信は、地区とクラブを繋ぐ大切な情報誌です。費用がかかりますが、皆さんに読んでいただくために要点を絞り、ページ数を少なくし印刷することを考えています。

皆さんのご協力をお願いします。

９．閉会点鐘

次回例会
第 1917 回　平成 29 年 5 月 22 日(月)
12:30～ 海南商工会議所 4F
ＩＤＭ報告の発表

ニコニコ・BOX

岡本　浩 様　本日、お世話になります。
(ガバナーエレクト)
田岡 郁敏 君　今日は卓話させて頂きます。

Rotary NEWS

柔の道でスラムから抜け出す

スラムから抜け出すための柔の道。若者たちはリオデジャネイロの貧困街で、オリンピックを夢見る。

16 才～21 才の若者 34 人がマットの上で輪になって座っています。皆、はじめは引っ込み思案でも、柔道

に対して少しずつ心を開いていきます。リオデジャネイロのスラム街、モロダマンゲイラに住むルーカス・フェレイラさんは次のように話します。「柔道を始める前、8歳の私は当てもなく通りをうろつき、ひどい仲間とつきあっていました」。彼はいま20歳。結婚もしています。10歳で柔道に出会ったルナン・アルベスさん（現在19歳）は、はにかみながら早口で話します。「子どものころ、将来は麻薬密売人になりたいという恐ろしい考えをもっていました。でも柔道が別のドアを開いてくれたのです。柔道は、よき市民として、ブラジルのために闘う道を教えてくれました」

リオデジャネイロのロータリークラブから支援を受けているこの柔道チームには、周囲のスラム街からやって来た若者300名がおり、フェレイラさんとアルベスさんも同様です。コーチをしているジョアン・ルイス・ミランダさん（Rio de Janeiro-Rio Comprido ロータリークラブ会員）は、助手の力を借りながらチームを組織するために奮闘しています。若者たちにとって、チームでの経験は、暴力と犯罪の日々から抜け出す道を提示するものです。

以前、リオデジャネイロで警察官をしていたというミランダさんは、1998年に子どもたちの支援プログラムに参加しました。しかし、彼は挫折。「子どもたちの状況は結局、元に戻ってしまい、プログラムは助けにならないと感じました」。翌年彼は、警察でスポーツプログラムを設置することを上司に提案。練習生わずか3名で始まったプログラムは、その後急速に発展しました。今日、チームはサッカーのクラブ施設で練習し、3～13歳のちびっ子メンバーは近くの教会で練習しています。

オリンピックの有力候補者に

ビトリア・ピニェイロさんは、2020年のオリンピックを目指して毎日練習しています。彼女にとって柔道は、負のエネルギーからポジティブな目標へと目線を変える助けになるものです。そんな彼女は、インターアクトクラブの会員でもあります。自分は誰の言うことも聞かない反抗的な若者だったと語るピニェイロさん。前回のブラジル柔道選手権で3位となり、もっと上を目指すことを決意しました。コーチのミランダさんは、リオの悪名高いスラム街で育った柔道金メダリスト、ラファエラ・シルバが、すべてが可能であることをチームに教えてくれたと話します。「スラム街出身者が世界チャンピオンになるのを見届けるのは、本当に素晴らしいことです」この柔道チームは二度も州選手権を勝ち取り、国内屈指の実力を誇ります。世界選手権で優勝したこともあり、昨年は5人の選手がブラジリアでの選手権で、金、銀、銅のメダルを勝ち取りました。

数々の選手権を勝ち取った選手たち。左より：カリーヌ・アンドレイドさん（リオデジャネイロ選手権金メダリスト）、カーラ・ドス・サントスさん（2015年国内チャンピオン）、イサベル・シルバさん（2013年世界選手権準優勝）、ヘレナ・ミランダさん（国内選手権銅メダリスト）　写真提供：Vitor Vogel

空腹で気を失っても不思議じゃなかった

チームとして常に成功の道のりを歩んできたわけではないと、警察官を引退し、ボランティアで柔道を教えてきたミランダさんは話します。「6年前までは最高でも15位です。選手もトレーナーも優秀ではありました。でも子どもたちは、空腹で気を失っても不思議じゃないような状態だったのです」その後、ロータリークラブの支援によって選手たちのパフォーマンスは変わりました。クラブは地元の食糧バンクと協力し、食べ物を毎月、チームメンバーとその家族に提供しました。また、ロータリー第4570地区の17クラブによってユニフォーム代と競技登録料が賄われ、筋力トレーニング設備も設置されました。彼らは、オリンピック武道競技のための支援を行っているロータリーグループと協力し、地元レストランの使用済み食用油をリサイクル工場に売って資金を調達しました。フランスの INEO do Brasil Engenharia e Sistemas 社もチームの主なサポーターです。

一人ひとり、新しい生活へと

チームの誰もがプロのアスリートを目指しているわけではありません。ジャーナリズムや海洋生物学分野での仕事を考えている人もいます。子どもたちから「教授」と呼ばれているジョアン・ルイス・ミランダさんは、子どもたちに将来のためのガイダンスを示してきました。「みんな貧困地域に住んでおり、一人ひとり丁寧にサポートしながら地域社会を改善することが大切。私たちの目標は、何かよいことをする方法と、犯罪以外の選択肢を子どもたちに示すことです」。柔道プログラムへの参加は無料。しかし、プログラムに残るための要件があります。それは、ちゃんと学校に通い、よい成績を取り、家族、友だち、同級生、そしてチームメンバーを尊重することです。柔道チームに入って2年目のイーレイン・マルティンさんは次のように話します。「先生がどれほど私たちの力になっているか、先生たちには分かってないかもしれません。私は心の底から言いたいことがあります。それは、私たちは本当のファミリーだということです」

編集者より：　本記事に登場し、創設者またコーチとしてこの Forca Jovem 柔道チームを育て上げたロータリー会員のジョアン・ルイス・ミランダさんは、2017年1月に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします